【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【公表番号】特表2003-507013(P2003-507013A)
【公表日】平成15年2月25日(2003.2.25)
【出願番号】特願2001-516899(P2001-516899)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　15/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　21/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/02　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/53　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｒ　1/91　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/02
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｄ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｎ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｙ
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｐ　1/02
Ａ６１Ｐ　3/06
Ａ６１Ｐ　3/10
Ａ６１Ｐ　9/10
Ａ６１Ｐ　9/12
Ａ６１Ｐ　13/12
Ａ６１Ｐ　15/10
Ａ６１Ｐ　17/00
Ａ６１Ｐ　21/00
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　25/00　１０１
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　29/00

Ａ６１Ｐ	35/00	
Ａ６１Ｐ	37/02	
Ｇ０１Ｎ	33/53	Ｓ
Ｃ１２Ｎ	5/00	Ｅ
Ａ６１Ｋ	37/02	
Ｃ１２Ｑ	1/02	
Ｃ１２Ｒ	1:91	

【手続補正書】
【提出日】平成19年8月9日(2007.8.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】被験者におけるβシートフィブリルの形成が関与している疾病を治療するための薬学的組成物であって、進展性グリケーション最終生成物に対する受容体(RAGE)を、RAGEのβシートフィブリルへの結合を阻害するために十分な量で含んでいる可溶性の化合物を含み、前記βシートフィブリルがアミリン，トランスサイレチン，シスタチン C，またはゲルソリンを含む薬学的組成物。
【請求項2】請求項1記載の薬学的組成物であって、前記可溶性の化合物が、抗体または抗体の部分に連結されたRAGEのV-ドメインを含む薬学的組成物。
【請求項3】請求項2記載の薬学的組成物であって、前記RAGEのV-ドメインが前記抗体の部分に連結される薬学的組成物。
【請求項4】請求項3記載の薬学的組成物であって、前記抗体の部分がFab断片である薬学的組成物。
【請求項5】請求項3記載の薬学的組成物であって、前記抗体の部分がFc断片である薬学的組成物。
【請求項6】βシートフィブリルの形成が関与している疾病を治療する薬学的組成物を製造するための、進展性グリケーション最終生成物に対する受容体(RAGE)のV-ドメインを含んでいる可溶性の化合物の使用であって、前記βシートフィブリルがアミリン，トランスサイレチン，シスタチンC，またはゲルソリンを含む使用。
【請求項7】請求項6記載の使用であって、前記可溶性の化合物が、抗体または抗体の部分に連結されたRAGEのV-ドメインを含む使用。
【請求項8】請求項7記載の使用であって、前記RAGEのV-ドメインが前記抗体の部分に連結される使用。
【請求項9】請求項8記載の使用であって、前記抗体の部分がFab断片である使用。
【請求項10】請求項8記載の使用であって、前記抗体の部分がFc断片である使用。